

# 貸借対照表

2026年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	30,257,456	流動負債	23,207,414
現金及び預金	28,999,796	営業未払金	3,453,739
営業未収金	958,630	未払金	797,586
前払費用	299,030	未払費用	6,504,812
		未払法人税等	294,200
		未払消費税等	653,700
		営業前受金	11,333,562
		預り金	169,815
		負債合計	23,207,414
固定資産	16,431,125	純 資 産 の 部	
有形固定資産	5	株主資本	23,481,167
建物附属設備	5	資本金	100,000,000
投資その他の資産	16,431,120	利益剰余金	△ 76,518,833
差入保証金	16,431,120	その他利益剰余金	△ 76,518,833
		繰越利益剰余金	△ 76,518,833
		純資産合計	23,481,167
資産合計	46,688,581	負債・純資産合計	46,688,581

# 個別注記表

## 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を適用しております。

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産・・・・・・・・定率法を適用しております。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備は、定額法を適用しております。

### 3. 重要な収益及び費用の計上基準

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

プロダクション事業については、顧客との関係において当社が「代理人」とみなされる取引は手数料見合分の純額で収益を認識しております。

## 【収益認識に関する注記】

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記 3. 重要な収益及び費用の計上基準」に記載の通りであります。

## 【貸借対照表に関する注記】

### 1. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債務 941,061 円

### 2. 有形固定資産の減価償却累計額

2,652,795 円

**【株主資本等変動計算書に関する注記】**

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式は普通株式で2,000株であります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

該当事項はありません。